

令和5年6月20日

神崎市で「筑後川本格改修100周年展」が開催されます！

神崎市では7月7（金）～7月13日（木）を『水を愛する週間』と定めており、その一環として「筑後川本格改修100周年展」が開催されます。

この展示会ではパネルを設置し、これまでの筑後川改修などの歴史や、これからの筑後川について考える「流域治水」についてなど、計16枚のデータを使用して紹介します。

【開催案内】

日付	機関名	展示場所	備考
7/7（金）～7/13（木）	神崎市	神崎市本庁舎 1階ロビー	



『水を愛する週間』

7月7日(金)～7月13日(木)

身近な河川に興味を持ってもらうことを目的に開催される機会が多い夏と秋に1週間ずつ「水を愛する週間」を定めました。皆さんこの機会に水辺を探検したり、市内の河川の状況について理解を深めてみましょう。

神崎市水の再生市民会議

～「筑後川本格改修100周年展」～
筑後川本格改修100周年の歴史に関する展示

日時：令和5年7月7日（金）～7月13日（木）（土日は除く）
午前8時30分～午後5時15分
場所：神崎市本庁舎 1階ロビー

神崎市水の再生市民会議とは

神崎市の豊かな自然環境が育む清流は、古くから農業用水や生活用水など、人々の生活を支えるための水として利用され、平成7年には国土交通省から「水の郷」として認定を受けました。

しかし、近年の市街化に伴う水路系統の変化などにより、一部の地域では水路の荒廃や水質悪化が進行し、かつての「水の郷」としての風情が失われつつあるため、市内の河川及び水路の浄化などを積極的に推進し、水環境の保全及び美しい自然の保持を図り、行政と市民が一体となって河川及び水路を再生する運動を展開することを目的として、令和3年8月25日「神崎市水の再生市民会議」を設立し、かつての「水の郷かんざき」を取り戻すべく、地域の活性化に繋げるための取り組みを推進しています。

裏面もご確認ください

『水を愛する週間』チラシより